

「新しい東北」官民連携推進協議会

令和元年度
岩手県意見交換会(第2回)

事務局提出資料

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局

2019年9月4日

● 目次

1. 意見交換会の概要
2. 第1回意見交換会・事後調整の結果
3. 第2回意見交換会の検討事項
4. スケジュール

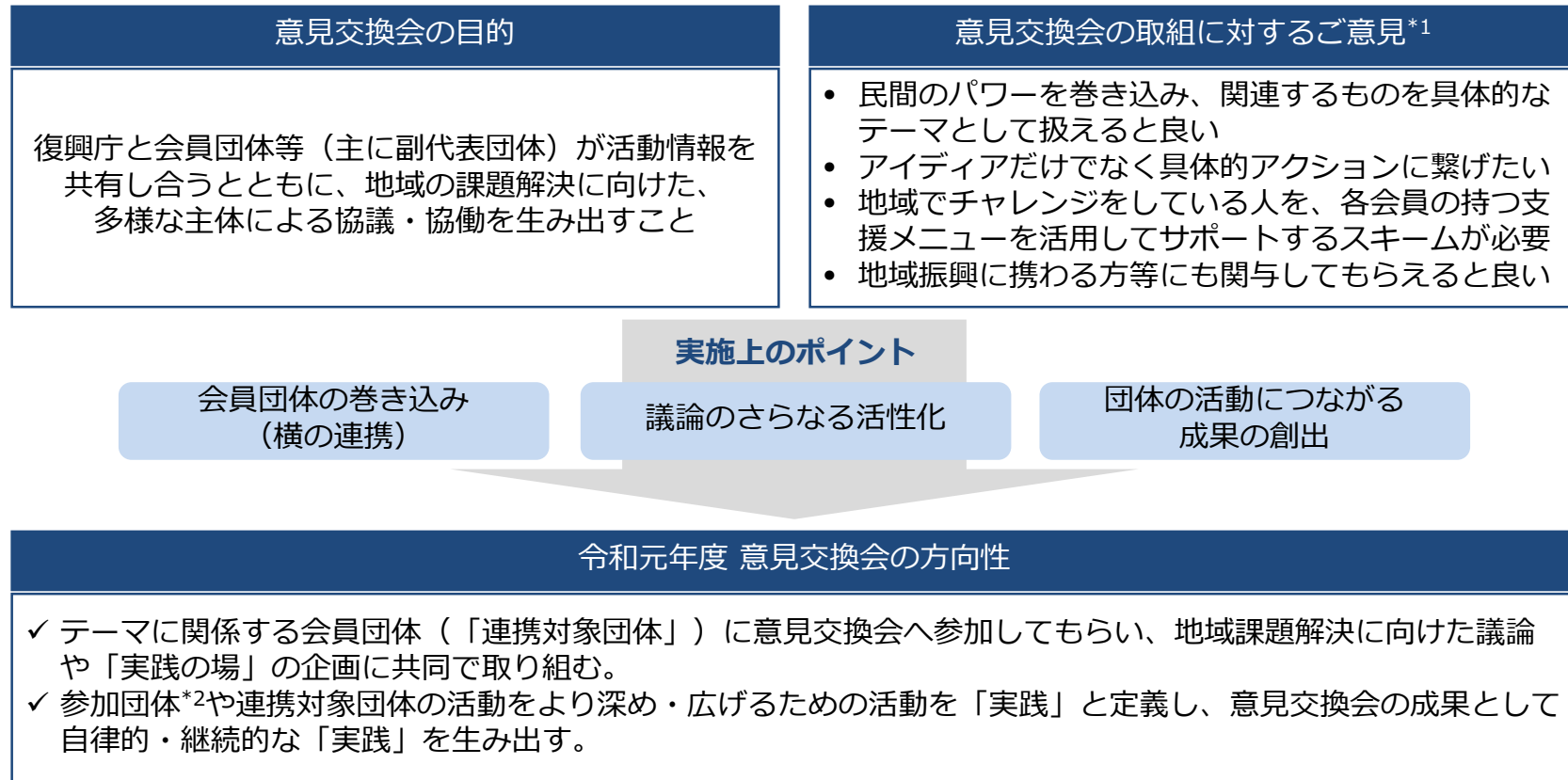
<参考資料>

- 宮城県意見交換会の検討事項
- 福島県意見交換会の検討事項

● 1. 意見交換会の概要 — 目的・今年度の方向性

本協議会では意見交換会を、復興庁と会員団体等（主に副代表団体）が活動情報を互いに共有し、地域の課題解決に向けて協議・協働を生み出す場と位置付けています。

今年度は特に、副代表団体以外の会員団体の巻き込み・議論の活性化・団体の活動につながる成果創出に注力します。



*1: 3県の第3回意見交換会内の発言を一部引用

*2: 副代表団体およびオブザーバーとして参加いただく団体

● 1. 意見交換会の概要 — 過去2年間の経緯

過去2年間の意見交換会では「関係人口」をテーマの軸に議論を展開。今年度以降に向けては、地方創生への繋ぎや、創業支援、ソーシャルな活動に対する支援スキームの確立、沿岸部・内陸部の繋がり促進などがテーマ案として挙がっておりました。

平成29年度

平成30年度

関係人口の増加

第1回

- 趣旨説明
- 活動紹介

第2回

- 活動紹介
- テーマ議論

第3回

- 活動紹介
- テーマ議論

第4回

- 活動紹介
- 調査内容の検討

ラグビーワールドカップ釜石開催PR
「岩手三陸地域における関係人口の増加に向けた調査」

第5回

- 活動紹介
- 調査結果を議論
- 来年度テーマの検討

関係人口増加から生まれる価値と、関わりを生むためのプロセス

第1回

- 趣旨説明
- 活動紹介
- 当年度のテーマの検討

第2回

- 活動紹介
- テーマ議論
- イベント内容の検討

「関係人口×〇〇で考える三陸の未来」
ブースセッションとパネルディスカッションによって、複数の切り口から、関係人口増加の価値や関わりを生む仕掛けづくりを紹介。

第3回

- 活動紹介
- イベントの振り返り
- 来年度以降のテーマ案検討

今年度以降のテーマ案

- 復興から地方創生への繋ぎ (例：創業支援)
- ソーシャルな活動に対する支援スキームの確立
- 沿岸部と内陸部の繋がり促進

● 1. 意見交換会の概要 — 今年度の進め方

昨年度同様、全3回の意見交換会と「実践の場」を開催予定です。
 テーマに関わりの深い「連携対象団体」に第2回の議論から参画いただくことで、地域でチャレンジしている人を巻き込んだ「実践の場」の企画や、「実践」の継続を目指します。

実施事項（案）

取り組みのポイント

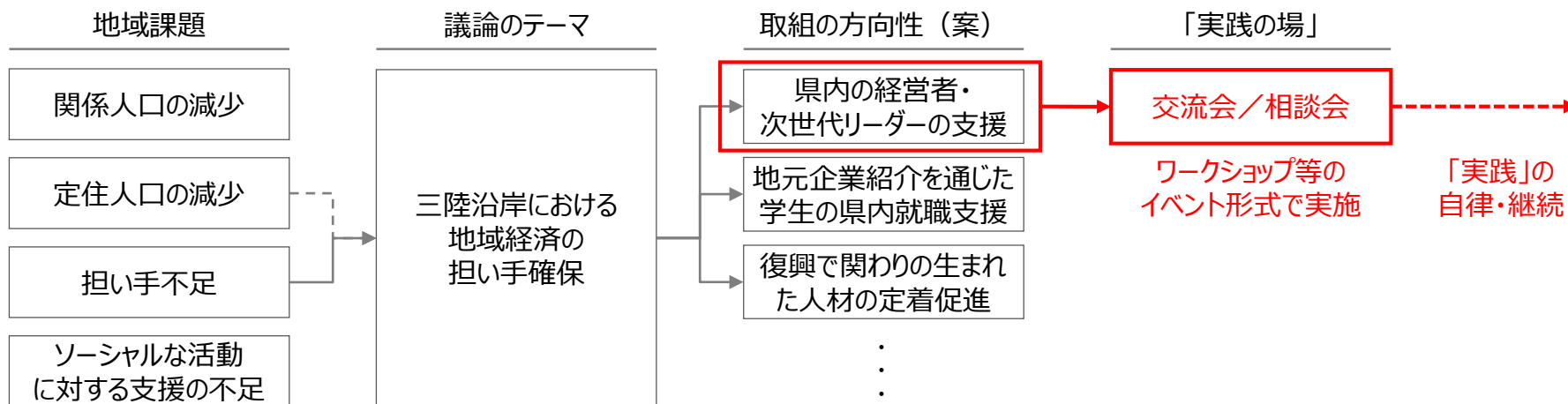
第1回	1. 意見交換会の趣旨、過去経緯（他県含む）の説明 2. 今年度の方針説明 3. 参加団体の今年度活動内容の紹介 4. 今年度テーマの検討（ 連携対象団体の検討含む ）	✓ テーマを決定するとともに、第2回以降から参画してもらう連携対象団体についても議論する
第2回	1. 参加団体の活動紹介 2. 連携対象団体によるプレゼンテーション等 3. テーマ議論 4. 「実践の場」の内容検討 （ 連携対象団体を企画時から巻き込む ）	✓ 連携対象団体より、現在の活動内容やテーマに対する問題意識・展望などについて共有してもらう ✓ 上記を踏まえて、地域でチャレンジをしている人を巻き込んだ「実践の場」や連携の在り方を議論する
実践の場	「実践の場」の詳細設計～開催～結果整理	✓ 会員団体の生業（活動）を深化・拡大させることや、継続的なアクションに繋げることを目的とする
第3回	1. 参加団体の活動紹介 2. 「実践の場」の振り返り、 今後の展望の議論 3. 来年度以降のテーマ案の検討	✓ 「実践の場」の振り返りに加え、今後の活動や体制を、自立的に継続させるための議論を行う
終了後	「実践」の継続	✓ 意見交換会終了後も「実践」の継続を目指す

● 【参考】 「実践の場」 について

意見交換会の議論をもとに、地域課題解決に向けた取り組みを試行することが「実践の場」の目的です。イベント開催に係る費用等を支援いたします。

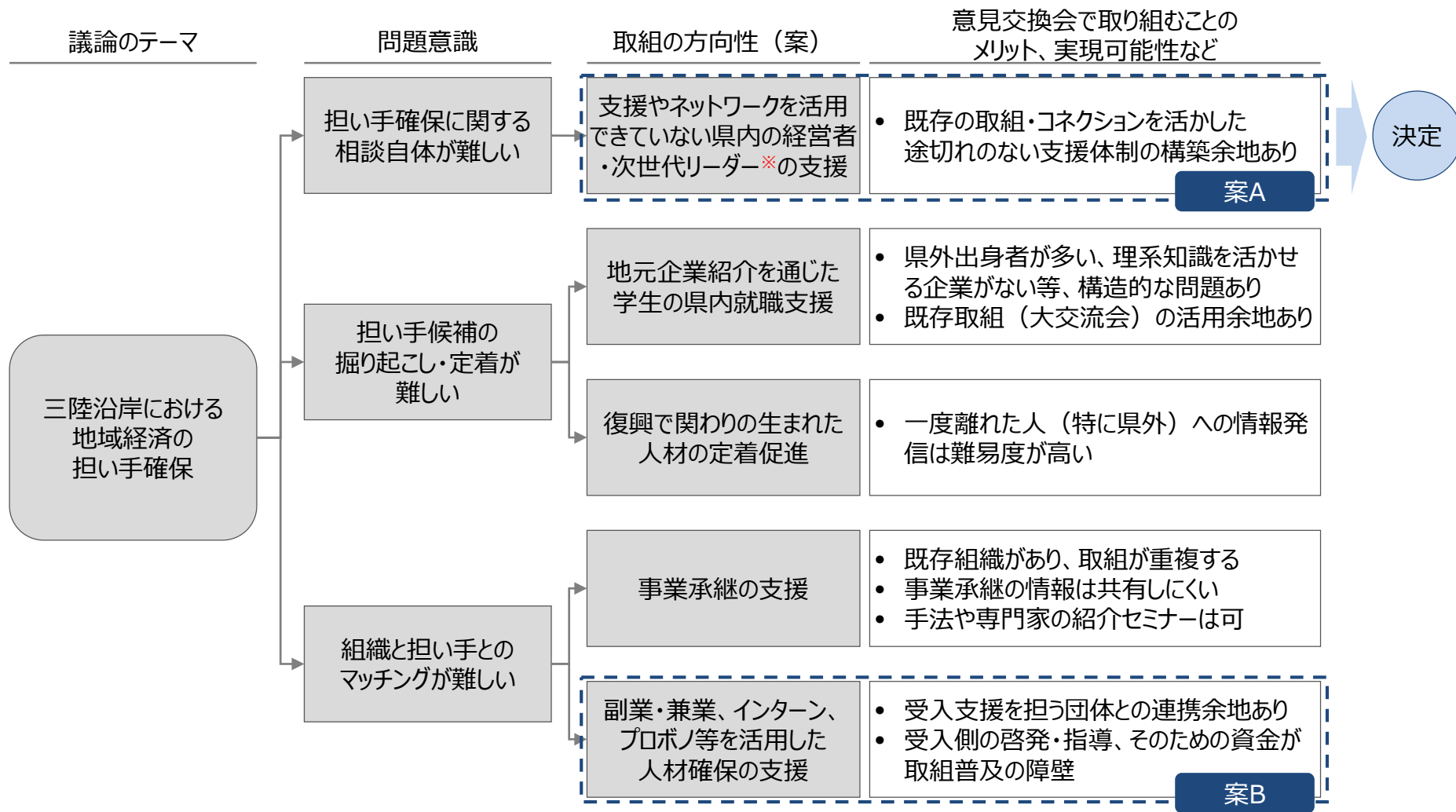
「実践の場」の概要	
目的	意見交換会の議論の中で挙げた、地域課題解決に向けた取組（解決策）を試行すること
活用できるリソース	ワークショップ等のイベント開催に係る以下については復興庁※が支援する ・ 開催費用（会場費、備品代、外部講師への謝金・交通費など） ・ 集客（協議会ポータルサイト・Facebookページなどを活用） ・ 司会／ファシリテーターの手配

■ 「実践の場」の考え方（イメージ）



● 2. 第1回意見交換会・事後調整の結果

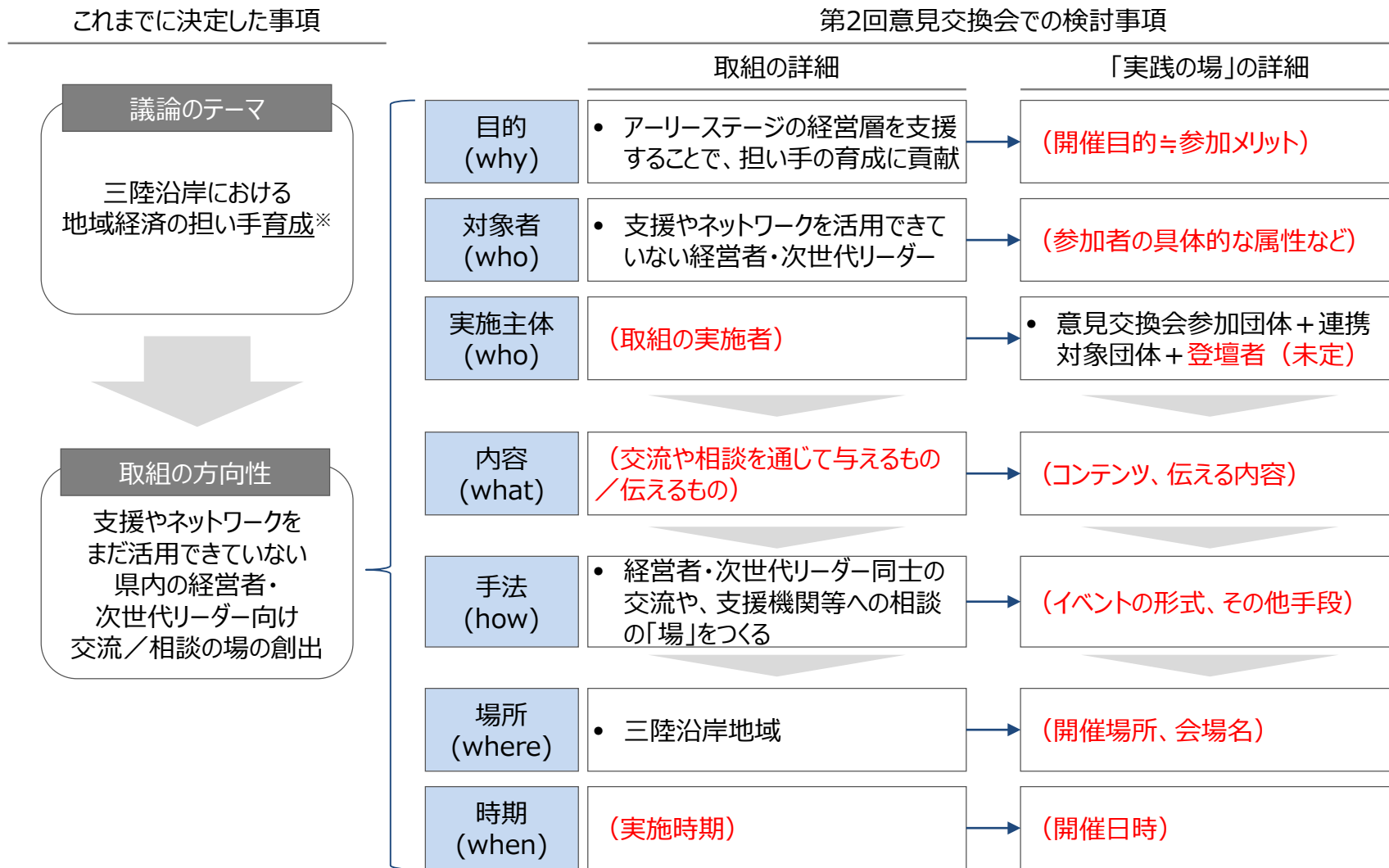
第1回意見交換会では「地域経済の担い手確保」というテーマに対して意見交換を行いました。取組の方向性は案A,Bに絞って調整した結果、連携を想起しやすく、既存取組との重複が比較的少ない案Aに決定しました。



※営利／非営利の団体問わず、経営者（承継直後の経営者・創業初期の経営者）や次世代リーダー（右腕人材・起業準備中の方）などが対象

● 3. 第2回意見交換会の検討事項

これまでに決定したテーマや取組の方向性をもとに、本日は取組や「実践の場」の詳細を検討します。



※当初は「担い手確保」という表現を用いていましたが、取組の方向性を踏まえると「担い手育成」という表現の方が適切なため変更しました

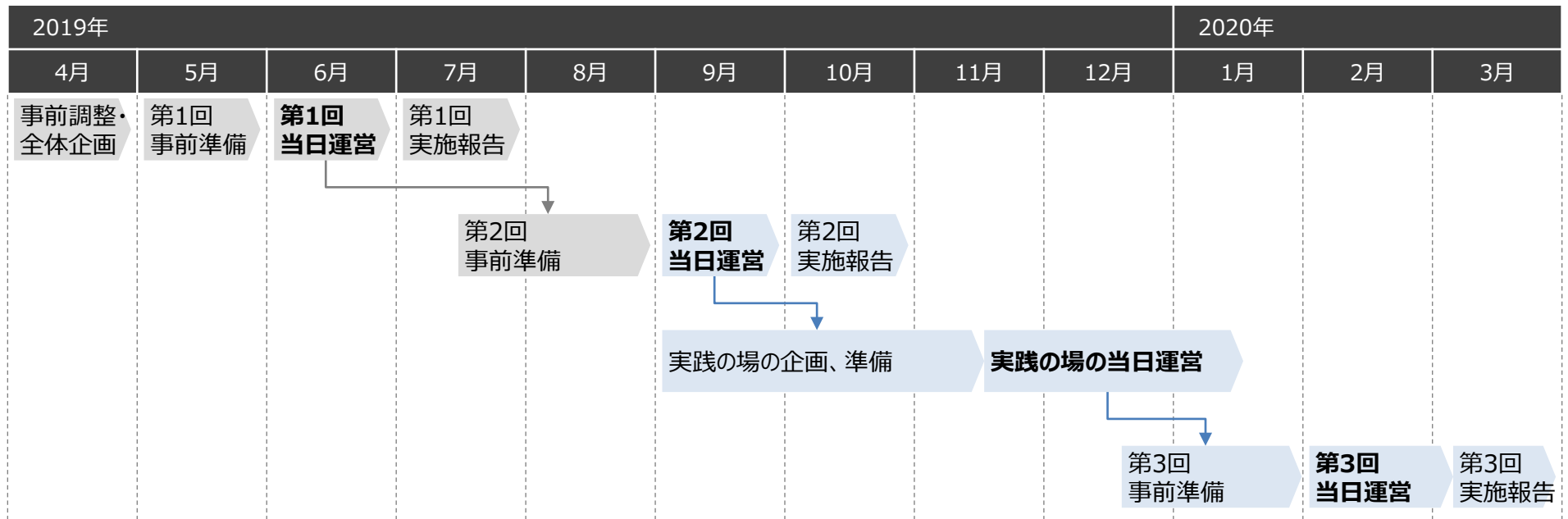
● 3. 第2回意見交換会の検討事項 — 例：経営層が抱える悩み

■ 経営者・次世代リーダーが抱える悩みの分類（支援対象者別、支援を受けていない理由別）

		支援対象者（経営層の分類）					取組内容（案）
		経営者			次世代リーダー		
		ベテランの 経営者	承継直後の 経営者	創業初期の 経営者	右腕人材	起業準備中	
支援を受けていない理由	相談相手が いない	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 他社への人材流出防止 ✓ コンプライアンス対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 承継に関わる人間関係の問題 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人材確保 ✓ 組織設計 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 承継に関わる人間関係の問題 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人材確保 ✓ 組織設計 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ悩みをもつ経営層又は克服経験のある経営層との交流
	支援策・ 枠組みを 知らない	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新規事業立案 ✓ 販路開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 事業計画策定 ✓ 販路開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 事業計画策定 ✓ 販路開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 承継準備 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 事業計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> 各経営層の状況に合った支援策・枠組みの紹介
	支援策・ 枠組みの 対象外		<ul style="list-style-type: none"> ✓ システム刷新 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 資金調達 ✓ 広報 		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 資金調達 ✓ 広報 	<ul style="list-style-type: none"> 既存の支援策・枠組みの隙間を埋める新たな支援の提供
	支援の必要 性に気づいて いない	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 雇用・労働条件の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 雇用・労働条件の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 雇用・労働条件の見直し 		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自社の魅力の客観的な分析 	<ul style="list-style-type: none"> 支援側が連携して経営層に対して啓発
	⋮						

● 4. スケジュール

意見交換会および実践の場は、以下のスケジュールで推進予定でございます。



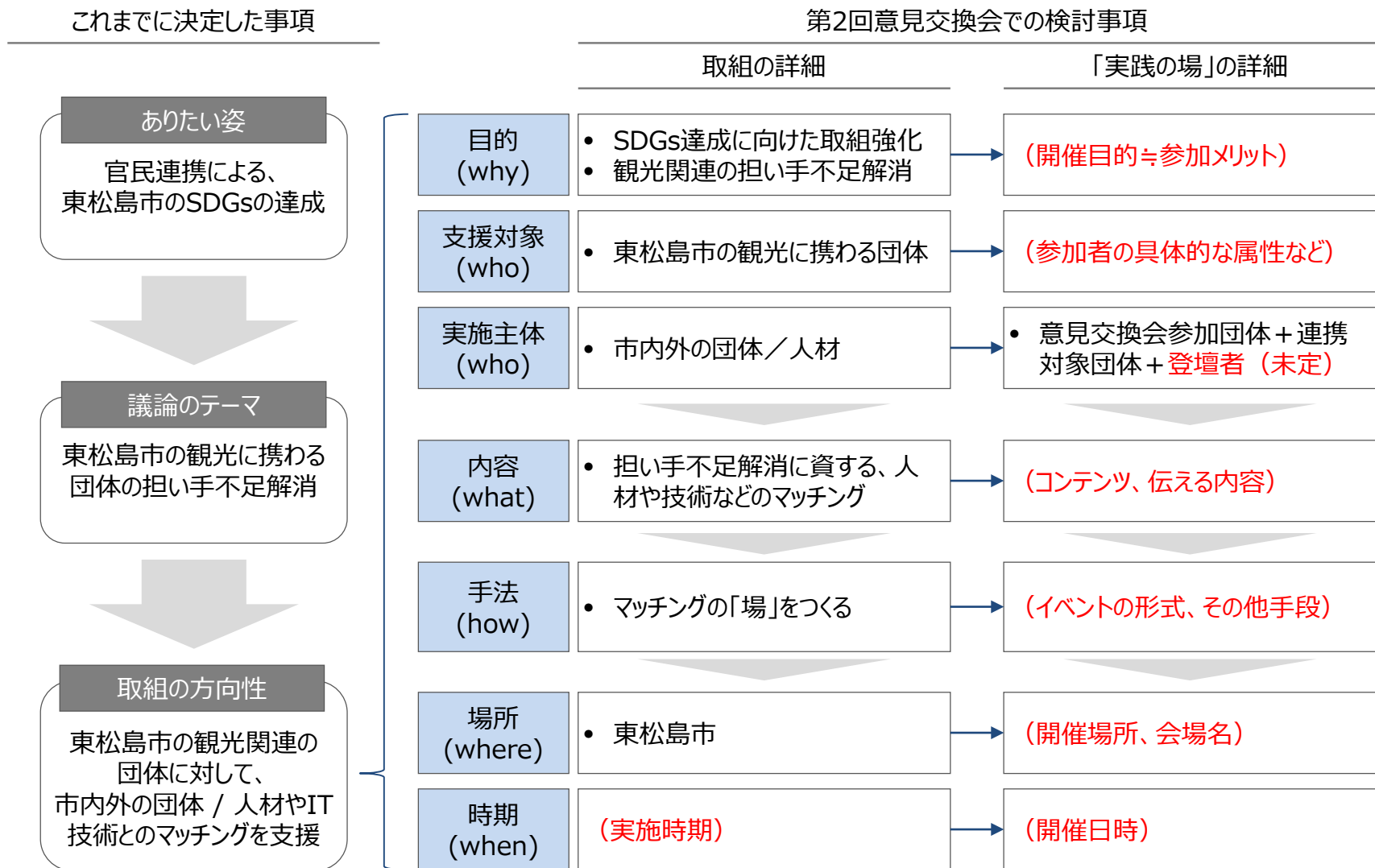
(凡例)

完了

未完了

参考資料

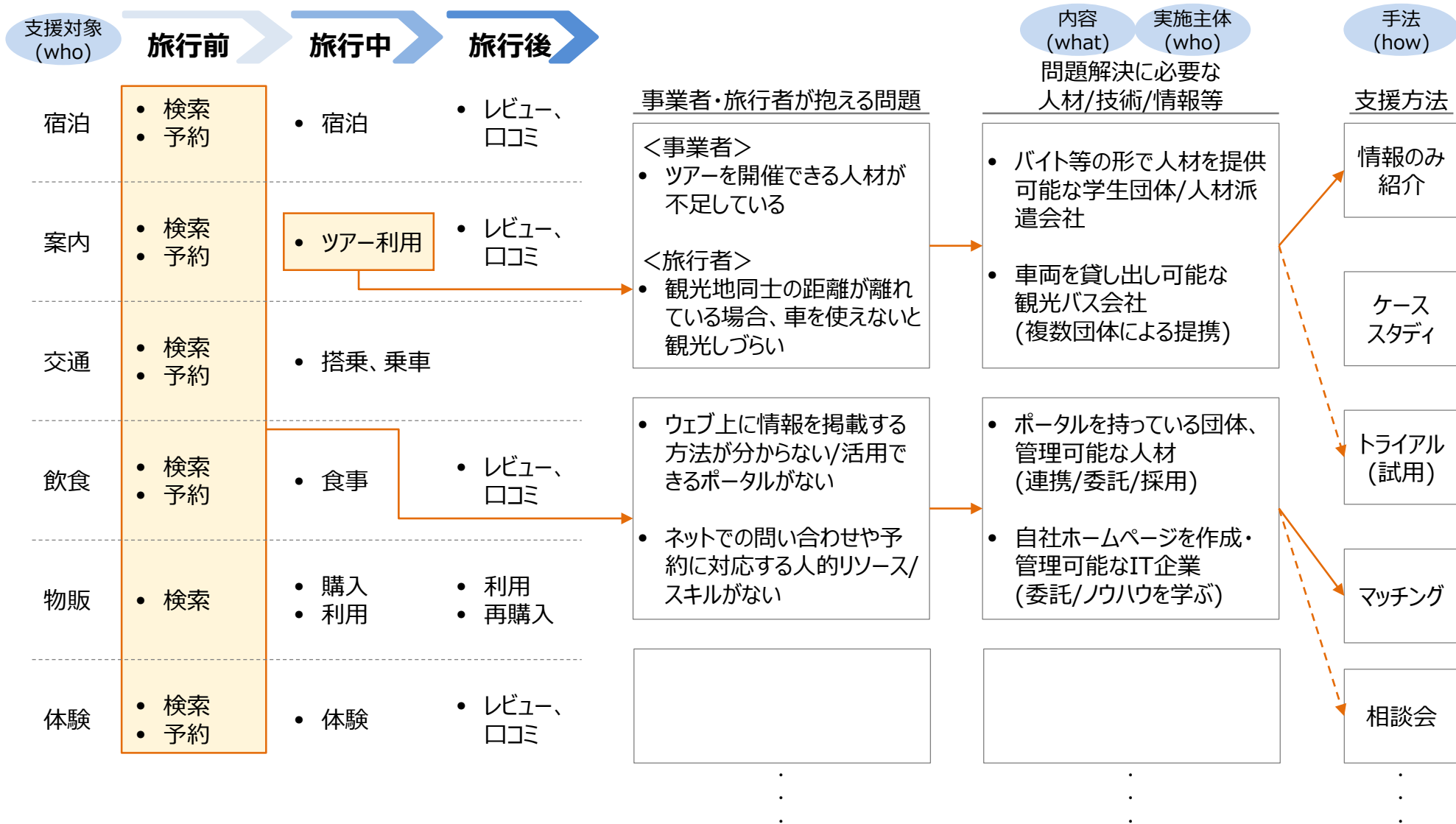
● 宮城県意見交換会の検討事項



※採用など「人」による対応だけでなく、技術や情報などの活用も含めた、人手不足解消の支援
 ※SDGsと本取組の関係性：取組自体がGoal #8,#12に関連し、また自然環境の保護・案内を担う団体も支援する意味でGoal #14,15にも間接的に貢献

● 宮城県意見交換会の検討事項 — 例：旅行者のアクションから考える

■ 旅行者来訪時のアクション（支援対象の分野別に整理）



● 福島県意見交換会の検討事項

これまでに決定した事項

第2回意見交換会での検討事項

議論のテーマ
福島県での暮らし方・働き方に関する理解促進
(魅力付け)



取組の方向性
福島在住の若年層向けにより身近な・地道に活動している方を紹介する

取組の詳細		「実践の場」の詳細
目的 (why)	<ul style="list-style-type: none"> 福島県での暮らし方・働き方に関する理解促進 	(開催目的≒参加メリット)
対象者 (who)	<ul style="list-style-type: none"> 福島在住の若年層 (高校生～大学生) 	(参加者の具体的な属性など)
実施主体 (who)	<ul style="list-style-type: none"> 福島在住で、より身近な、地道に活動されている方 	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換会参加団体+連携対象団体+登壇者 (未定)
内容 (what)	<ul style="list-style-type: none"> 福島県内での暮らし方・働き方の紹介 	(コンテンツ、伝える内容)
手法 (how)	<ul style="list-style-type: none"> 若年層に対して直接、暮らし方・働き方を話して伝える 	(イベントの形式、その他手段)
場所 (where)	<ul style="list-style-type: none"> 福島県内 	(開催場所、会場名)
時期 (when)	(実施時期)	(開催日時)

● 福島県意見交換会の検討事項 — 例：学生と社会のニーズから考える

